

| | | | | | |
|-----|-----|-----|-----|--------|-----|
| 町 長 | 副町長 | 課 長 | 主 幹 | 担当スタッフ | 合 議 |
| | | | | | |

別記様式第4号

| 会 議 等 結 果 報 告 書 | | | |
|-----------------|--|------|----------|
| 会議区分 | 会 議 ・ 打合せ ・ 協 議 | 文書番号 | 1 5 5 |
| | | 決裁期日 | 平成 年 月 日 |
| 名 称 | 平成31年度第1回介護保険事業運営協議会・地域包括支援センター運営協議会 | | |
| 日 時 | 令和元年5月31日（金） 13時30分から15時20分 | | |
| 場 所 | かみん1階会議室 | | |
| 出席者 | 別紙のとおり | | |
| 内 容 | <p>かみん1階会議室で平成31年度第1回介護保険事業運営協議会・地域包括支援センター運営協議会が行われました。別紙の資料の説明を行った。質疑応答および意見は下記のとおり。</p> <p>議題1（質問者：大場委員）計画と実績を比べ、実績が落ちているハイツ・老健・おおぞらの現状はどうなっているのか？</p> <p>回答：ハイツは、待機者はいるが、待機者のほとんどが他の施設に入所中であり、現状の施設を継続する希望の方が多いため、事実上の待機者は5名程度と聞いております。介護員が充足されたことで待機者については随時入所できる見込みとなっています。ショートステイについても受け入れができる状態となっています。老健は退所した後すぐ空きが埋まっているおおぞらは人員配置の都合上2のうち1ユニットしか運営しておらず、9人定員のうち6人利用しており、3人受け入れができる状況。ほ一ふは満床である。</p> <p>議題1（質問者：渡部委員）町外の施設から（ハイツを）希望している方はいるのか？</p> <p>回答：以前から希望している人はいる。</p> <p>議題1（意見：岡和田委員）入所条件が厳しくて施設に入れてもらえない状況である。認知症の症状により、入所を断られることもある。施設に対して指導なりしてほしい。</p> <p>議題2（質問者：大場委員）電話サービスが少ないようだが、今後どうするのか？</p> <p>回答：社会福祉協議会が委託で請け負っていて、ボランティアの人もいることから町・社協と協議して今後の継続についての結論を出したい。</p> <p>議題2（質問者：渡部委員）移送サービスをたくさん使っているのか？</p> <p>回答：背景として人工透析の患者が増加したわけではなく、人工透析していた方が高齢化により、自分の車で行けなくなったことにより利用者が増えた。美瑛</p> | | |

| | |
|-----|---|
| 内 容 | <p>は送迎付きという話を聞いている。</p> <p>(意見:岡和田委員)美瑛は運転手だけしかこないなので、移送サービスを使わないのでヘルパーが乗り降りの手伝いをしているのが現状。</p> <p>議題3(質問者:加藤委員)なぜ、草分と富町が多いのか?</p> <p>回答:草分地区は高齢者の相談が多かった。富町はガンの終末期の方がいてその関連の相談が多かった</p> <p>議題3(質問者:渡部委員)お元気会など予防通所に行くきっかけはどういうことで行くのか?</p> <p>回答:民生委員等から包括支援センターに連絡があっていくこともあり、基本チェックリストを実施し、事業につなげるアプローチを行っている。</p> <p>議題6(質問者:加藤委員)自分のところに徘徊しているという連絡が入っていて、パジャマ姿で人の家の畑や庭に入り、アスパラをもいでしまう人がいる。</p> <p>回答:家族の方も認知症ではないと認めずにSOSネットワークに登録しない方もいるのも現状であり、高齢者実態調査の中でそういう人たちを洗い出しているが潜在的な認知症の方はまだまだいるかもしれない。⇒個別対応し、民生委員と情報交換を継続する。</p> |
|-----|---|